【実施区域・面積】

神奈川県湯河原町・22.85ha

【生態系タイプ】

人工林、湧水湿地

【実施区域の状況】

本サイトは、神奈川県の西部、湯河原町の新崎川上流の山間地域（標高300～700m）に位置し、主にヒノキが育つ人工林を中心とする水源涵養林となっています。同県内には、代表申請者の生産拠点である川崎製造所があり、森林整備や自然観察会などの活動を通じて、これまでに、植物、草本160種・木本140種、いきもの43種以上の多くの在来種を中心とした動植物が観察されています。

【目標】

森林を守り、育て、将来の世代に引き継ぐことを目指して、森づくり活動を通じて、多様な在来の動植物が生息・生育する生態系を維持していきます。合わせて、生物多様性保全・回復の大切さを学ぶ機会として、環境教育に活用します。

【主な活動内容】

(1)「日本触媒・湯河原万葉の森」づくり体験活動（年2回）：植樹、間伐、枝打ち、下草刈りなどの森林保全活動、自然素材を使ったクラフト、巣箱づくりなどを実施する。

(2) 活動フィールドの整備：作業性、安全性を向上し、活動を円滑に行うため、イベント広場等の整備、経路の新設・補修、間伐や植栽等の活動作業場所の整備など必要に応じて実施する。

(3) 活動情報誌の作成：年間活動計画や活動結果、季節の花・鳥・昆虫等を紹介するため、活動情報誌を4半期に1回を目途に作成する。

【モニタリング計画】

対象：植物、動物、鳥類、昆虫類など

手法：センサーカメラでの撮影（1台、通年稼働、定期的に画像回収）、目視による観察

時期、頻度：環境整備等の活動に合わせて、3か月ごとの年4回程度

【実施体制】

（株）日本触媒：社員ボランティアによる森づくり活動の実践、「緑の募金」への協力

湯河原町：所有する町有林の提供、森づくり活動の円滑な実施への協力

（公財）かながわトラストみどり財団：森づくり活動計画の作成、具体的な企画・提案

（公社）国土緑化推進機構：「緑の募金」を通した活動支援、活動計画作成等への協力



【計画期間】

令和7年9月～令和10年3月